

魅力と個性あふれる都市をつくりま



JR浦田駅東口

5年後のめざす姿

○働き、学び、遊び、集い、憩いの場としての多彩な魅力を持ち、多くの人々が住み続けられ、訪れたい魅力ある都市になっています。

これまでの成果

- 「魅力と個性あふれる都市」の具体的な姿はその時代の社会情勢に応じて変化するものです。区はその具体的な姿を「都市計画マスタープラン」で示しています。未来プランを策定した平成21年には、マスタープラン策定から10年以上が経過しており、社会情勢は大きく変化してきました。
- 区は、平成23年に改定委員会の答申を受け、「都市計画マスタープラン」を改定しました。同プランでは、大田区という都市の将来像、都市づくりの理念、都市構造のあり方を新たに示し、その実現に向けた取り組みの方針をまとめました。
- 中心拠点である蒲田駅・大森駅周辺についてはグランドデザイン★を策定し（蒲田駅周辺については課題解決に向け「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を策定）、地元団体や関係地権者などと協働*でまちづくりを進めています。
- 地域拠点の整備も進展をみせており、大岡山駅周辺では、鉄道蓋架け工事が進められ、地上部の道路整備の検討が行われています。京急蒲田駅西口周辺及び、桜谷駅周辺では第一種市街地再開発事業*1によるまちづくりが進められています。雑色駅周辺においても市街地再開発に向けた協議・検討が進んでいます。

★「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」、「大森駅周辺地区グランドデザイン」

現状と課題

- 前期計画期間中、区は社会情勢に応じた「魅力と個性あふれる都市」の具体的な姿を「都市計画マスタープラン」によって示し、その実現に向け動き出しました。今後は同プランに基づくまちづくりの具体化が課題となっていきます。
- 中心拠点である蒲田・大森は、羽田空港の国際化と東京オリンピック・パラリンピックの開催も視野に入れ、駅周辺のオープンスペース*2の確保とともに、回遊性や交通の利便性、防災上の安全性などの機能向上が求められています。
- 地域拠点の整備も区民の日常生活を支えるために不可欠です。各地域の拠点整備により18色のまちづくりが活性化していくことが期待されます。
- 今後大田区が世界に誇るまちへと進展していくためには、これら機能面の向上に加えて、各地域の景観特性を活かした、多彩なまちなみづくりや、用途地域に合わせた建築物の高さ制限導入による良好な住環境の形成が重要となってきます。

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合(%)	—	—	58.5% (平成25年度)	64%
区内人口の社会増減率*3(平成20年1月1日基準)(%)	0% (平成20年1月1日)	—	8.66% (平成25年1月1日)	18%

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

魅力と個性あふれる都市をつくりま

1 国際都市おおたの魅力づくり

- 蒲田駅周辺のまちづくり
- 大森駅周辺のまちづくり
- 羽田空港跡地・周辺部の整備
↳「羽田空港跡地まちづくり推進計画」の推進、産業支援・文化交流拠点の整備

2 個性が光るまちづくり

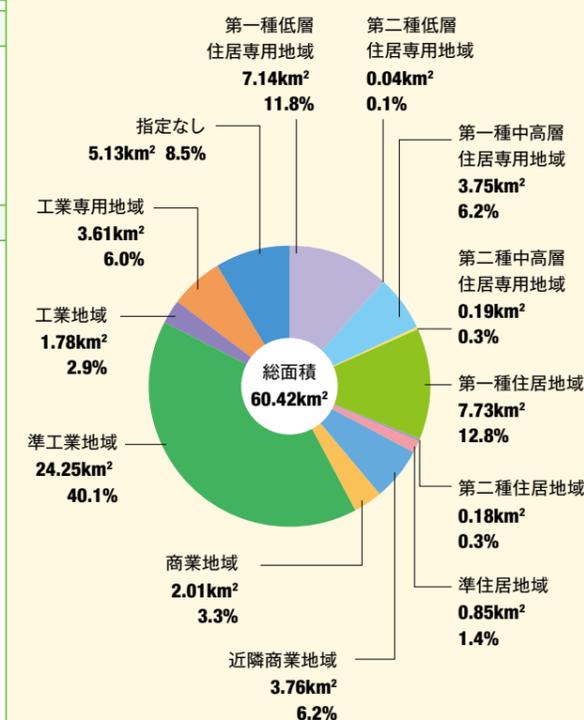
- 身近な地域の魅力づくり
- 美しいまちなみづくり
- 人がにぎわう道づくり
↳ふれあいの場として整備した商店街などの道路を老朽化に対応して再整備

3 みんなでつくるまちづくり

- 区民との連携・協働*の推進
- 区有施設再活用・再構築の円滑な実施
↳区民などと連携した公共基盤や公共建築物の整備

参考データ

▶用途地域別面積と割合



出典：「大田区政ファイル」(平成25年4月1日現在)

*1 市街地再開発事業

市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、都市計画法及び都市再開発法に基づいて行われる、建築物、建築敷地及び公共施設の整備に関する事業。

*2 オープンスペース

公園、広場、河川、農地など、建物や工作物などによって覆われていない土地。

*3 社会増減率

地域内における転入、転出による流出入超過率。算出式については、P.247を参照。

水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

魅力と個性あふれる都市をつくりま

施策の方向性と主な事業

1 国際都市おおたの魅力づくり

「国際都市おおた」をめざし、引き続き、区全体の活性化に寄与する中心拠点のまちづくりを進めます。蒲田と大森の空港臨海部に近い立地特性を活かしたまちづくりによって、人々の交流や商業のさらなるにぎわいと盛況を生み出します。羽田空港跡地は、「羽田空港跡地まちづくり推進計画」に基づくまちづくりの具体化を図ります。

主な事業

■蒲田駅周辺のまちづくり

ランドデザインの重点としている「駅を中心とする地区整備」は、「蒲田駅周辺再編プロジェクト」に基づき、公共基盤を再整備するとともに、周辺街区の建物更新を促進しながら、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進	→					継続
駅周辺街区のまちづくり	→					継続
かまた街なか“すいすい”プラン(移動等円滑化推進計画)の実施(再掲)	→		見直し	→		

■大森駅周辺のまちづくり

ランドデザインの公共基盤整備の重点としている池上通りの拡幅と、駅西口駅前公共空間の確保に向け、周辺街区も含めた駅西側の整備構想を策定し、実現に向けた取り組みを進めます。あわせて、臨海部への玄関口としてのまちの活性化を図ります。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
駅西側周辺のまちづくり	→					継続
駅周辺の活性化	→					継続
おおもり街なか“すいすい”プラン(移動等円滑化推進計画)の実施(再掲)	→		見直し	→		

2 個性が光るまちづくり

地域に住む人、訪れる人の双方が魅力に思える、個性豊かなまちなみを形成するため、私鉄主要駅周辺地区では、安全で快適な歩行者空間を確保するなど、18色のまちづくりの基礎となる地域拠点の整備を進めます。

人がにぎわう商店街などのふれあい道路やシンボル道路は老朽化に応じて維持補修を行います。

主な事業

■身近な地域の魅力づくり

地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、地元関係者の合意形成を図りながら駅前空間や住環境・商業環境を整備し、同時に公共自転車駐車場や帰宅困難者受入施設の整備を進めます。糎谷駅周辺では、子育て支援施設、高齢者支援施設、防災倉庫、公共自転車駐車場などの公益施設の整備を行い、災害に強い快適なまちづくりを進めます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
地域拠点駅周辺のまちづくり	→					継続
京浜急行線連続立体交差事業に伴う京急蒲田駅西口、糎谷駅、糎色駅の周辺地区のまちづくり	→					継続



京急蒲田駅西口周辺の完成イメージ



糎谷駅周辺の完成イメージ

■美しいまちなみづくり

各地域の特性に応じた自然や多様な歴史資源、生活文化を、まちづくりに活かすため、平成25年10月に策定した「大田区景観計画」に基づき、個性と魅力あふれる良好な景観形成を誘導します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
景観計画の推進	→					継続

3 みんなでつくるまちづくり

「地域力を生かした大田区まちづくり条例」に基づき、地域でまちづくり活動を行う団体への支援や開発事業者に対しての指導・助言を行い、良好なまちなみを保全・形成します。区有施設の有効活用や美しいまちなみを形成するため、公共基盤や公共建築物の整備・維持において、区民などと連携した取り組みを推進します。

主な事業

区民との連携・協働*の推進

良好な生活環境の向上を図るために行う建築計画等に関する開発調整や、地域のまちづくりに関する課題解決に向けた自主活動への支援を行います。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
建築計画等に関する開発調整	→					継続
地域まちづくり支援事業	→					継続

大田区 今昔

蒲田



蒲田駅東口(昭和32年)



現在



蒲田映画街(昭和30年)

大森



大森駅東口(昭和31年)



現在

荏谷羽田



大鳥居駅前の環状8号線(昭和36年)



現在

調布



田園調布イチョウ並木の子どもたち(昭和48年)



現在